



取扱説明書



*LG の液晶モニターはLED バックライトを採用したLCD 製品です。

このたびはLG製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

27G810A

www.lg.com

Copyright © 2025 LG Electronics Inc. All Rights Reserved.

目次

ライセンス	3
-------------	---

オープンソースソフトウェアのお知らせ	4
--------------------------	---

組み立てと準備	4
---------------	---

- サポートされているドライバーとソフトウェア 5
- 製品とボタンの説明 5
 - OSDジョイスティックの使用方法
- モニターの持ち運び 6
 - テーブルへの設置
 - スタンドの高さの調整
 - 見やすい角度に調整する
 - ピボット機能
 - スイベルスタンド
 - ケンジントン (Kensington) ロック
 - 壁掛け金具を取り付ける
 - 壁への取り付け

モニターの接続	16
---------------	----

- PCに接続する 16
 - HDMI接続
 - DisplayPort接続
- AV機器の接続 17
 - HDMI接続
- 周辺機器の接続 18
 - USBデバイスの接続
 - ヘッドホンを接続する

ユーザー設定	19
--------------	----

- メインメニューの表示 19
 - メインメニューの機能
- ユーザー設定 20
 - Menu設定

困ったとき	31
-------------	----

製品仕様	35
------------	----

- 工場出荷時対応モード 36
- HDMI タイミング (映像) 39
- 電源LED 39

ライセンス

サポートされているライセンスは、モデルによって異なる場合があります。ライセンスの詳細については、www.lg.comを参照してください。



HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。



SuperSpeed USB Tridentロゴは、USB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。



VESA、VESAロゴ、DisplayPort Complianceロゴ、DisplayPort Complianceロゴ（デュアルモードソース用）はすべて、Video Electronics Standards Associationの登録商標です。



Manufactured under license from DTS Licensing Limited. For applicable DTS patents, see <https://xperi.com/patents/>. DTS, the Symbol, DTS and the Symbol together, Headphone:X and DTS Virtual:X are trademarks of DTS, Inc. and affiliates. DTS' software, technologies, and documentation, © DTS, Inc. and affiliates. All Rights Reserved.

オープンソースソフトウェアのお知らせ

本製品に実装されているGPL、LGPL、MPLおよびその他のオープンソースライセンスに基づく開示義務を有するソースコードの入手は <http://opensource.lge.com/> のWebサイトをご覧ください。

ソースコードともに、該当するすべてのライセンス内容および著作権表示をダウンロードすることができます。また、弊社は有料でCD-ROMによりオープンソースコードを提供しています。料金にはCD-ROMの代金、送料、取扱手数料が含まれます。ご希望される場合は、opensource@lge.com まで電子メールでお問い合わせください。

本サービスは、弊社が本製品を販売後3年間、本情報を受け取られたすべての方に対して有効です。

組み立てと準備



注意

- 製品を安全に長くお使いいただくため、付属品以外のアクセサリは使用しないでください。
- 付属品以外の使用による破損や負傷は、保証の対象外になります。
- 弊社推奨品以外の汎用ケーブルを使用すると、画面が映らなかったり画像にノイズが発生する場合があります。
- 本書のイラストは一般的な手順を図解したものであり、実際の製品とは外観が異なる場合があります。
- 製品を組み立てる際、ネジに油や潤滑油などを使用しないでください。製品が故障する可能性があります。
- ネジを留めるときに過剰力を加えると、モニターが損傷するおそれがあります。過度な締め付けによって、破損が生じた場合は保証の対象外になります。
- モニターを上下逆さにした状態でスタンドベースをつかんで持ち運ばないでください。モニターがベースから外れて落ち、けがをするおそれがあります。
- モニターを持つ場合、画面に触れないようモニターの背面を持ち、画面に傷が付かないようにしてください。
- 本製品の外観に波紋のパターンが見られるときがあります。これは一般的なコーティングと異なり、真珠を原材料に添加することで生じるデザイン上の特性で、耐久性を高めるための処理です。製品の性能には影響しませんので、安心してご使用ください。



ヒント

- ・イラストはイメージです。実際のものとは若干異なる場合があります。
- ・この取扱説明書に記載されているすべての情報および仕様は、製品品質向上の目的で事前の予告なしに変更されることがあります。
- ・付属品以外の部品をお求めになる際は、本製品を購入した販売店またはパソコン専門店、家電量販店、通販サイトにお問い合わせください。
- ・付属の電源コードは、国や地域によって異なります。

サポートされているドライバーとソフトウェア

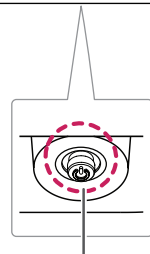
本製品はLGエレクトロニクスが提供する、モニターをより便利に活用できるソフトウェアを使用することができます。

ソフトウェアは弊社ホームページよりダウンロードしてください。

ドライバーとソフトウェア	インストールの優先順位
モニタードライバー	オプション
LG Switch	推奨
LG Calibration Studio	オプション
Dual Controller	オプション

- ① LGエレクトロニクスのホームページ(www.lg.com)にアクセスします。
 - ② ページ最上部の[サポート]から[ソフトウェアダウンロード]をクリックします。
 - ③ [製品の型番、またはモデル名を入力してください]に、モデル番号(製品の型番)を入力します。
 - ④ 本製品に対応するソフトウェアまたはデバイスドライバが表示されるので、使用しているOSをご確認の上、ファイルを選択してください。
- ※ ホームページ(www.lg.com)のダウンロードの手順、レイアウト、構成は変更される場合があります。

製品とボタンの説明



OSDジョイスティック

OSDジョイスティックの使用方法

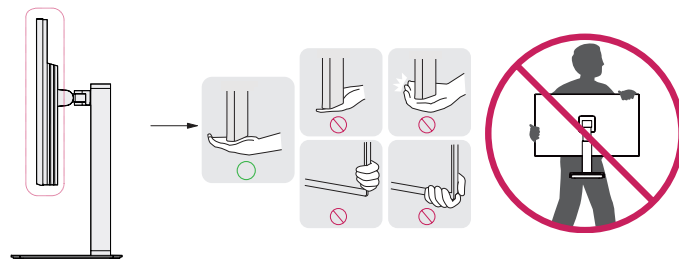
OSDジョイスティックを指で押したり、上下左右に動かすことでモニターの各種機能を簡単に操作できます。

基本機能

		電源オン	OSDジョイスティックを指で押すと、モニターの電源がオンになります。
		電源オフ	OSDジョイスティックを指で押し続けると、モニターの電源がオフになります。
		音量コントロール	OSDジョイスティックを左右に動かすことで音量を調整できます。
		画面の明るさの調整	ジョイスティックボタンを上下に動かすことで画面の明るさを調整できます。

モニターを持ち運び

- モニターを持ち運ぶ場合は、モニターの損傷や破損を防いで安全に輸送できるように、形状やサイズに関係なく、以下の指示に従ってください。
- モニターの梱包に使用されていた箱や梱包材を使用してモニターを運ぶことをおすすめします。
- モニターを持ち運ぶ前に、電源コードおよびその他すべてのケーブルを取り外してください。
- モニターのフレームの側面および下部をしっかりと持ち、液晶パネル(画面)には触れないようにしてください。
- モニターを持つ場合、画面に触れないようモニターの背面を持ち、画面に傷が付かないようにしてください。
- モニターを運ぶ際は、モニターに衝撃を与えたり、過度な振動を与えないでください。
- モニターを運ぶ際は、モニターを垂直にして持ち、横にしたり左右に傾けたりしないでください。

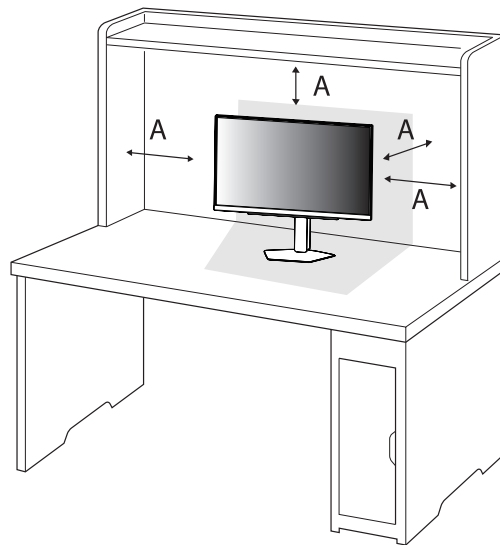


**注意**

- ・ モニター画面には触れないでください。
 - 画面に傷が付いたり、液晶が損傷するおそれがあります。
- ・ モニターの底面にはOSDジョイスティックがあるため、スタンドを使用しないとモニターが倒れるおそれがあり、モニターの損傷またはケガの原因となります。また、OSDジョイスティックが破損するおそれがあります。

テーブルへの設置

- ・ モニターを持ち上げ、直立させた状態でテーブルに置きます。
十分な通気性を確保するため、背後および周囲10 cm 以上の空間を空けて設置してください。



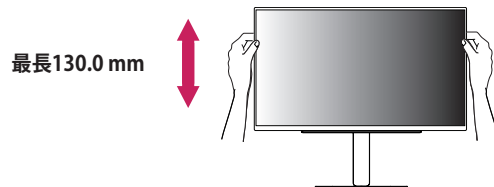
A: 10 cm

⚠ 注意

- ・ モニターの移動や設置は、電源コードを抜いてから行ってください。感電のおそれがあります。
- ・ 電源は、AC100V (50/60Hz) のコンセントを使用してください。指定以外の電源を使用すると火災の原因になることがあります。
- ・ 製品パッケージ付属の電源コードを使用して、アース付きコンセントに接続してください。

スタンドの高さの調整

- 1 スタンドベースに取り付けたモニターを直立させた状態にします。
- 2 モニターの左右背面側に手を添えて高さを調整します。(液晶パネルには触れないようにしてください。)

**⚠ 警告**

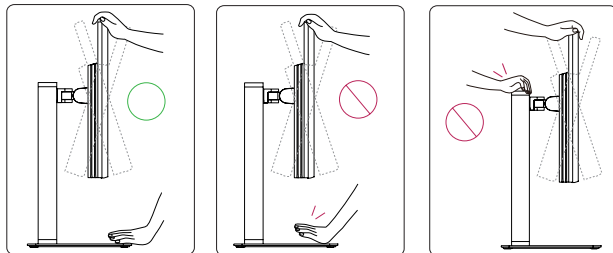
- ・ 画面の高さを調整するときに、画面とスタンドベースの間に手を置くと、はさんでケガをするおそれがあります。スタンドベースの上に手を置かないようにしてください。

見やすい角度に調整する

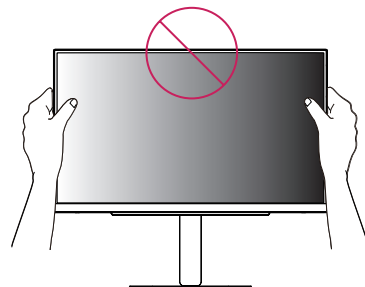
- 1 スタンドに取り付けたモニターを直立させた状態で設置します。
- 2 画面の角度を調整します。
画面の角度は、快適に見られるように -5° ～ 21° の範囲で前後に調整できます。

警告

- 画面の角度を調節するときは、スタンドベースとモニター本体の間に指や手を置かないでください。はさんで負傷をするおそれがあります。



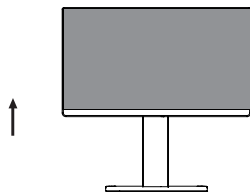
- 画面の角度を調整するときは、フレームを持って調整してください。画面のパネルには触れないようにしてください。



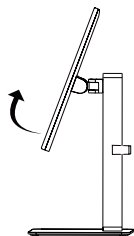
ピボット機能

ピボット機能により、モニターは時計回りに90°、反時計回りに-90°回転できます。

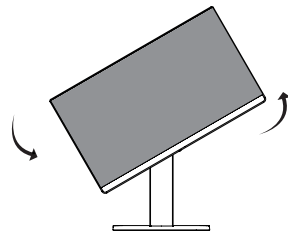
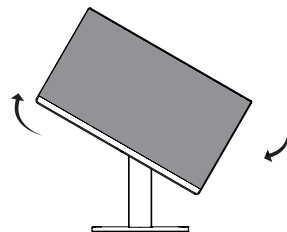
1 モニターの高さを一番上まで上げます。



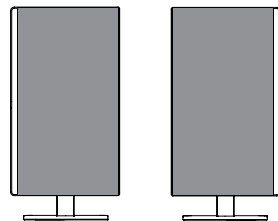
2 図のように、モニターが上を向くように角度調整します。



3 図のように左右どちらかに回転させます。

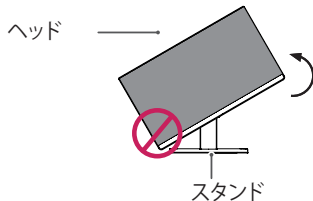
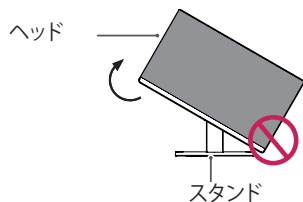


4 モニターを90°回転させて、角度、高さを調整します。



✓ ヒント

- ・オートピボット機能はサポートされていません。
- ・Windowsには、表示内容を回転させるためのショートカットキーが割り当てられています。この機能を使用すれば、表示内容を簡単に回転させることができます。ただし、一部のWindowsのバージョンやグラフィックカードドライバでは、これらのショートカットキーの割り当てが異なっている場合や、サポートされていない場合があります。
- ・Windowsでは、以下のショートカットキーで表示内容を回転させることができます。
 - 0°:Ctrl + Alt + 上向き矢印(↑)
 - 90°:Ctrl + Alt + 左向き矢印(←)
 - 180°:Ctrl + Alt + 下向き矢印(↓)
 - 270°:Ctrl + Alt + 右向き矢印(→)

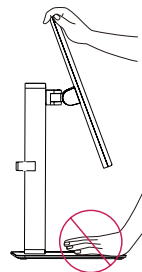


! 警告

- ・ピボット機能を使用してモニターを回転させる場合は、モニターが破損しないよう、スタンドとモニターが接触しないようご注意ください。

! 警告

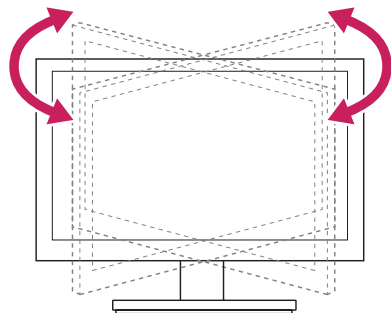
- ・ケーブルを接続したままモニターを回転させる場合は、ケーブルが抜けたり、巻き込まないように注意してください。
- ・モニターを回転させる場合は、ケガを防ぐため、モニターとスタンドベースの間に指を置かないでください。



スイベルスタンド

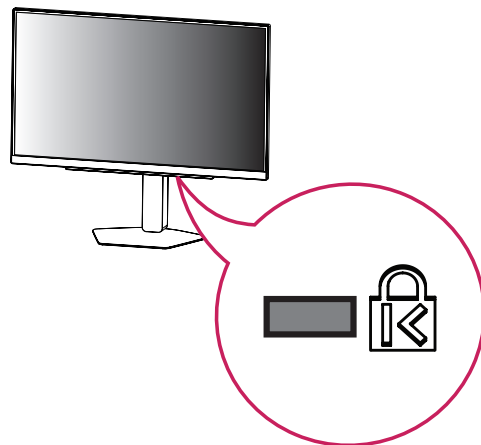
- 以下の図は、実際のモニターと異なる場合があります。

1 画面が見やすいように、60度まで回転させて調整できます。



ケンジントン (Kensington) ロック

取り付けおよび使用方法については、ケンジントンロックの取扱説明書を参照するか、ケンジントン社のホームページ (<http://www.kensington.com>) をご覧ください。



✓ ヒント

- ケンジントンロックのお求めの際は通販サイトを参照いただくか、最寄りのパソコン専門店や家電量販店にお問い合わせください。

壁掛け金具を取り付ける

壁にモニターを取り付けるには、モニターの背面に壁掛け用金具（非同梱です。別途ご用意ください。）を取り付けます。

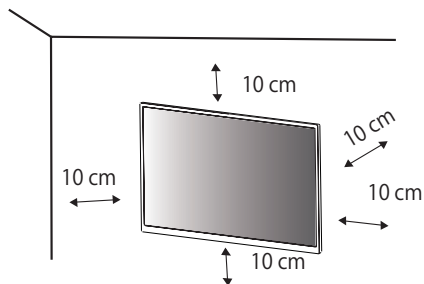
- 1 画面を下向きにして置きます。画面に傷が付かないように、下に柔らかい布を敷いてください。
- 2 スタンド結合面にある4本のネジを反時計回り(左回り)に回して外します。
- 3 モニターの上に壁掛け用プレート置き、ネジ穴を合わせます。
- 4 ネジ(4箇所)を時計回りに締めて、壁掛け金具をモニターの背面に固定します。

✓ ヒント

- 壁掛け金具は別売です。
- 詳細については、壁掛け金具付属の取扱説明書をご覧ください。また、取り付けに必要な部品は壁掛け金具に付属しています。
- 壁掛け金具を使用する際は、壁掛け金具に付属するもの、または、適合するネジを使用してください。
- ネジが標準の長さを超過する場合、モニターの内部が損傷するおそれがあります。

壁への取り付け

適切な通気性を確保するため、背後および周囲10 cm 以上の空間を空けて設置してください。設置に関しては、壁掛け金具のマニュアルを参照してください。



モニターを壁に取り付ける場合は、壁掛け金具（非同梱です。別途ご用意ください。）をモニターの背面に取り付けます。

壁掛け金具がモニターおよび壁にしっかりと固定されていることを確認してください。

壁掛け(mm)	100 x 100
標準のネジ	M4 x L10
必要なネジの数	4



ヒント

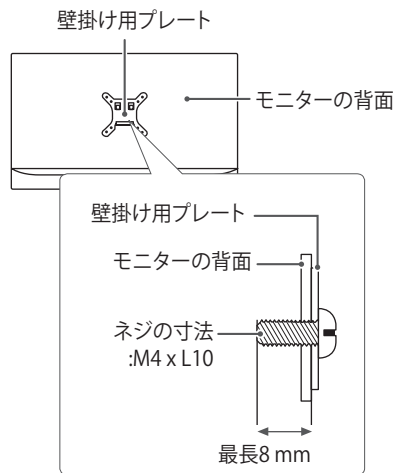
- ・ VESA規格以外のネジを使用すると、モニターの破損や落下の原因になるおそれがあります。対象となるネジ以外を使用したことによる事故については、保証の対象外となります。
- ・ 壁掛けに必要な部品や、マニュアルは壁掛け金具に付属されています。設置に関する詳細は、壁掛け金具のマニュアルを参照してください。
- ・ 壁掛け金具は別売です。お求めの際は/パソコン専門店、家電量販店、通販サイトにお問い合わせください。
- ・ ネジの長さは取り付ける壁の状態や素材によって異なります。適切な種類と長さのネジを使用してください。



注意

- ・ 移動や設置は先に電源コードと信号ケーブルを外してから行ってください。ケーブルを取り外せずに移動、設置すると落下してケガや感電のおそれがあります。
- ・ モニターは天井や傾斜面には取り付けしないでください。落下して重大なケガをされるおそれがあります。
- ・ 壁掛け金具を使用する際は、壁掛け金具に付属するもの、または、適合するネジを使用してください。
- ・ ネジが標準の長さを超過する場合、モニターの内部が損傷するおそれがあります。
- ・ 正規品以外の壁掛け金具の使用または、ネジの締め過ぎ等による損傷は保証の対象外となりますので注意してください。
- ・ 取り付けの不備による製品の損傷または落下は保証の対象外となりますので十分ご注意の上、作業してください。

- VESA規格に準拠した壁掛け金具とネジを使用してください。不適切な付属品の使用、または誤った使用方法による損傷は、本製品の保証の対象外になります。
- 壁掛け用のネジ穴の深さは8mmです。



モニターの接続

- 実際の製品とは若干異なる場合があります。
- OSDジョイスティックを押し、**[設定]** → **[入力]**の順に選択し、映像が出力される機器に接続した端子を選択します。

注意

- 液晶パネルに触れないでください。映像が乱れることがあります。
- 映像の焼き付きを防ぐため、スクリーンセーバーなどを使用して、画面に同じ画像を長時間表示しないでください。

ヒント

- 電源コードをコンセントに接続する際には、アース付きマルチソケットまたはコンセントをご使用ください。
- 本機が冷えた状態で電源を入れると、画面にちらつきが発生する場合がありますが、これは正常な動作です。通電して温度が上昇すれば、正常な状態に戻ります。
- 画面に赤、緑、または青の点が表示されることがありますが、これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。

PCに接続する

- 本機は、プラグアンドプレイに対応しています。
- * プラグアンドプレイ: PCに機器を接続して電源をオンにすると、設定や操作をしなくても、PCで認識してOSの標準ドライバがインストールされます。

HDMI接続

PCとモニターをHDMI端子でデジタル接続します。

注意

- HDMI-DVIやHDMI-DisplayPortなどの変換ケーブルまたは変換コネクタを使用した場合、互換性の問題が発生する場合があります。
- HDMI ロゴの付いた規格が保証されたHDMIケーブルをご使用ください。HDMI Licensing Administrator, Inc.で認証されていないHDMIケーブルやハイスピードに対応していない標準HDMIケーブルを使用すると、正常に動作しないことがあります。
- 推奨のHDMIケーブルのタイプ
 - ハイスピードHDMI®/TMケーブル

DisplayPort接続

PCとモニターをDisplayPort端子でデジタル接続します。

✔ ヒント

- PCのDisplayPortのバージョンによっては、映像出力または音声出力に対応していないことがあります。
- 弊社推奨品以外のケーブルを使用すると、画面が映らない、画面にノイズが発生するなど、正常に作動しないことがあります。
- Mini DisplayPort出力を実装したグラフィックカードまたはPCと接続する場合は、DisplayPort-Mini DisplayPortケーブルまたは、変換コネクタを使用してください。（ケーブル、コネクタは非同梱です。別途ご用意ください。）

AV機器の接続

HDMI接続

AV機器とモニターをHDMI端子でデジタル接続します。

✔ ヒント

- HDMI-DVIやHDMI-DisplayPortなどの変換ケーブルまたは変換コネクタを使用した場合、互換性の問題が発生する場合があります。
- HDMI ロゴの付いた規格が保証されたHDMIケーブルをご使用ください。HDMI Licensing Administrator, Inc. で認証されていないHDMIケーブルやハイスピードに対応していない標準HDMIケーブルを使用すると、正常に動作しないことがあります。
- 推奨のHDMIケーブルのタイプ
 - ハイスピードHDMI®/TMケーブル

周辺機器の接続

USBデバイスの接続

USBダウンストリーム端子は、USBハブとして機能します。

USB 3.0を使用する場合は、付属のUSBケーブル(A-Bタイプ)でモニターのUSBアップストリーム端子とPCとを接続します。

USB ダウンストリーム端子に接続された周辺機器をPCから操作できます。

✓ ヒント

- Windowsは最新のアップデートプログラムを適用してから接続することをお勧めします。
- 周辺機器は非同梱です。別途で用意ください。
- キーボード、マウスなどのUSBデバイスをUSBダウンストリーム端子に接続できます。
- ダウンストリーム端子に接続したデバイスの充電が可能です。充電速度はUSBデバイスによって異なります。

⚠ 注意

USBデバイス使用時の注意事項

- 自動認識プログラムがインストールされているUSBデバイスや独自のドライバーを使用するUSBデバイスの場合、デバイスが認識されないことがあります。
- 一部のUSBデバイスは、サポートされていないか、正常に動作しないことがあります。
- 電源のあるUSBハブまたはハードディスクドライブを使用することをお勧めします。(供給電力が十分でない場合、USBデバイスが正しく認識されないことがあります。)

ヘッドホンを接続する

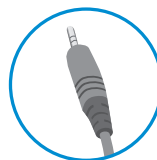
ヘッドホン端子(ミニプラグ)に、ヘッドホン、イヤホン、スピーカーなどを接続できます。

✓ ヒント

- 周辺機器は非同梱です。別途で用意ください。
- オーディオ用ミニプラグの形状はストレートタイプのプラグの使用をお勧めします。L字型のコネクタの場合、モニターの筐体と干渉して差しこめなかったり、他の端子をふさいでしまう場合があります。

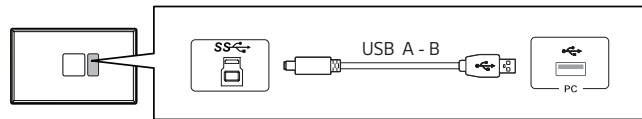


L型タイプ



ストレートタイプ
(推奨)

- PC および外部機器のオーディオ設定によっては、ヘッドホンおよびスピーカーの機能が制限されることがあります。



- マイク付きヘッドホンでマイク機能を使用する場合は、USB A-Bケーブルを接続してください。

ユーザー設定



ヒント

- 実際のモニターのOSD（オンスクリーンディスプレイ）は、アップデート等により、本書の内容と異なる場合があります。

メインメニューの表示

- 1 モニターの底面にあるOSDジョイスティックを押します。
- 2 OSDジョイスティックボタンを上下左右に倒して、カーソルを移動させて目的の設定項目を選択します。

メインメニューの機能



メインメニュー	説明
入力	表示させる入力端子を選択します。
電源オフ	モニターをオフにします。
設定	モニターの各種設定メニューを表示します。
Dual-Mode	表示解像度を調整して各種設定を切り替えます。
終了	メインメニューを終了します。

ユーザー設定

Menu設定

- 1 モニター底面にあるOSDジョイスティックを押します。メインメニューが表示されます。
- 2 OSDジョイスティックを右 (▶) に倒して、**[設定]**を選択します。OSDメニューが表示されます。
- 3 OSDジョイスティックを前後左右に倒して、カーソルを移動させて目的の設定項目を選択します。
- 4 目的の設定項目上でOSDジョイスティックを押すと設定項目の表示や決定ができます。
- 5 OSDメニューを終了させる場合は、OSDジョイスティックを左 (◀) に数回(OSDメニューの階層によります)倒します。



ゲーム機能設定



画像調整



サウンド



入力



全般

SDR(HDR非対応の映像)信号受信時の[ゲーミングモード]の設定メニュー

設定 > ゲーミングモード		説明
ゲーミングモード	パーソナルな映像	お好みに合わせてパーソナライズされる画像モードを設定します。
	ゲーマー 1	お好みの画質を保存、適用することができます。[ゲーマー1]または[ゲーマー2]を選択後[ゲーム機能設定]、[画質調整]を行います。設定された内容はそれぞれを選択すると適用されます。
	ゲーマー 2	
	FPS	FPS (First Person Shooting) ゲームに最適化されたモードです。暗いシーンでも見やすくなるよう調整されています。
	RTS	RTS (Real Time Strategy) ゲームに最適化されたモードです。
	鮮やか	明るさ、コントラスト、シャープネスの値を強めて、鮮明な画質で表示します。
	ブルーライト 低減モード	紙のような質感で表示するモードです。より明るく見やすい画質にしたい場合には、OSD メニューで[明るさ]の調節ができます。
	HDR効果	通常の映像(SDR)をHDRに近い画質で表示します。
	sRGB	sRGBの色空間で表示します。
	DCI-P3	米国の映画制作会社が構成するDigital Cinema Initiatives(DCI)で定めたデジタルシネマ規格の色合いで表示します。(SDRのみ)
	色覚調整	P 型および D 型の色覚用のカラーモードです。赤色、緑色の表示を区別できるように配色されます。
	キャリブレーション 設定1/2	キャリブレーションされた画面に調整します。
	 ヒント ・キャリブレーション 設定1/2 : キャリブレーションを実行するには、LG Calibration Studioをインストールしてください。	

HDR信号受信時の[ゲーミングモード]の設定メニュー

設定 > ゲーミングモード		説明
ゲーミングモード	パーソナルな映像	お好みに合わせてパーソナライズされる画像モードを設定します。
	ゲーマー 1	お好みの画質や機能を保存、適用することができます。 [ゲーマー1] または [ゲーマー2] を選択後 [ゲーム機能設定] 、 [画質調整] を行います。設定された内容はそれぞれを選択すると適用されます。
	ゲーマー 2	
	FPS	FPS (First Person Shooting) ゲームに最適化されたモードです。暗い映像のFPSゲームに最適化されたモードです。
	RTS	RTS (Real Time Strategy) ゲームに最適化されたモードです。
	鮮やか	映像をより鮮やかに表示します。
	 ヒント - OS(Windows 10)の設定によっては、HDRの設定が適切に操作できないことがあります。Windows 10のHDRに関する設定のオン/オフを確認してください。 - グラフィックカードの性能によっては、モニターのHDRに関する機能が有効のときに、文字や写真の表示品質が正常に出力されない場合があります。 - グラフィックカードによっては、モニターのHDRに関する機能が有効のときに、[入力]を変更したり電源をオンにした際に、画面が点滅したりちらつきが発生したりする場合があります。 - グラフィックカードおよびゲームが HDR に対応しているかについてはそれぞれのメーカーのウェブサイトをご覧ください。	

設定 > ゲーム機能設定		説明
ゲーム機能設定	Dual-Mode	リフレッシュレートを増やすと、より滑らかで素早い動作を体験できます。
		オフ 最大3840 x 2160 @180 Hzをサポートし、PCのパフォーマンスによって異なる場合があります。
		オン(全画面) 最大1920 x 1080 @360 Hzをサポートし、PCのパフォーマンスによって異なる場合があります。
		 ヒント ・ [Dual-Mode]ボタンを使用して[Dual-Mode]を[オフ]、または以前選択していた場合は[オン(全画面)]の間で切り替えられます。 ・ ゲーム中に[Dual-Mode]を起動するには、まずゲームを終了してから[Dual-Mode]を起動してください。
	Adaptive-Sync / VRR	Adaptive-Sync / VRRは、映像のフレームレートとモニターのリフレッシュレートを自動的に同期させる機能です。フレームレートが一定でない映像(ゲームなど)を表示したときに発生するティアリング(ちらつき)やスタッタリング(カクつき)を抑えることができます。
		 注意 ・ この機能はAMD FreeSync™ テクノロジーまたはNVIDIA G-SYNC Compatibleに対応しています。 ・ この機能を使用するためには、対応APUを搭載したPCまたはGPUを搭載したグラフィックカードが必要です。 ・ VRRはHDMIとDisplayPortで対応します。G-SYNC CompatibleはDisplayPortのみ対応します。 ・ G-SYNC CompatibleはGeForce GTX10シリーズまたはRTXシリーズのみサポートしています。 ・ 詳細な情報はAMD社またはNVIDIA社のホームページでご確認ください。
		拡張 [標準]よりも広域なリフレッシュレートで動作します。ただし、ゲームをプレイ中にちらつきが発生する場合があります。その場合は、[標準]に設定することをお勧めします。
		標準 Adaptive-Sync/VRRをこのモニターの標準的なリフレッシュレートに準ずる範囲で有効にします。
		オフ Adaptive-Sync/VRR をオフにします。
	ブラックスタビライザー	見えづらい画面の暗い部分を明るく表示し、視認性を高めます。 [High]/[Middle]/[Low]/[オフ]の4段階で選択できます。 [High]に設定すると、暗い部分が見えやすくなります。[Middle]、[Low]に設定するに従い、明暗の差が大きくなり鮮明な画像表示になります。

ゲーム機能設定	応答速度	パネルスペックの応答速度から、オーバードライブ回路で応答速度を高速化させます。 標準的な環境の場合、[Fast]を使用することをお勧めします。 動きの速い映像の場合、[Faster]を使用することをお勧めします。 [Faster]に設定すると、残像(オーバーシュート)が発生することがあります。その場合は、表示ソースに合わせて適切な速度に設定してください。	
		Faster	液晶パネルの応答速度を高速にします。
		Fast	液晶パネルの応答速度を中程度高速にします。
		Normal	液晶パネルの応答速度をやや高速にします。
		オフ	オーバードライブをオフにして、パネルの基本速度になります。
	クロスヘア	FPS(First Person Shooting) ゲームのプレイ用に、画面中央にクロスヘア(十字マーク)を表示します。クロスヘアは4種類のデザインから選択できます。	
	FPSカウンター	オン	インジケーターが画面の左上に表示されます。入力時に受信した実際のフレームレートが反映されません。FPSカウンターの位置(左上/右上/右下/左下)を調整することもできます。
		オフ	FPSカウンター機能を利用しません。
		 ヒント ・FPSカウンター機能とクロスヘア機能を同時に利用できません。	
	ゲーム機能設定初期化	ゲーム機能の設定をリセットします。 初期化してもよろしいですか？	
		No	リセットを行わず、メニュー選択に戻ります。
		Yes	初期設定(工場出荷時の設定)に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期化されますので、ご注意ください。

設定 > 画像調整		説明	
画像調整	明るさ	画面の明るさを調整します。	
	コントラスト	画面のコントラストを調整します。	
	シャープネス	画面のシャープさを調整します。	
	ガンマ	モード1 モード2 モード3	ガンマ値を補正します。[モード1] に設定すると中間色が明るく、[モード3] に設定すると中間色が暗く表示されます。
		モード4	ガンマ設定を調整する必要がある場合は、[モード4]を選択してください。
	色温度	ユーザー設定	[R/G/B]で設定したお好みの色合いで表示します。
		Warm[暖色]	画面の色温度を暖色系(より赤い)に設定します。
		Medium[中間]	画面の色温度を中間に設定します。
		Cool[寒色]	画面の色温度を寒色系(より青い)に設定します。
		マニュアル	お好みの色温度に微調整することができます。
	R/G/B	R(レッド)G(グリーン)B(ブルー) 各色の強弱を手動で設定します。	
	6色相環	6色相環(レッド、グリーン、ブルー、シアン、マゼンタ、イエロー)の色合い、彩度を調整して、より詳細なお好みの色を設定できます。	
		色合い	各色の色相を調節します。
		彩度	各色の彩度を調整します。
	ブラックレベル	モニターで表示できる最も暗い色のレベルを調整します。(HDMI接続のみ)	
		High	映像信号の情報をそのまま表示します。
		Low	暗い部分が暗くなり、シャープな色合いで表示されます。

画像調整	Deep Black Pro	ゲームや映像のコンテンツに応じて、暗い場面でコントラストやグラデーションを強調します。	
		High	PCゲームを表示するときにお勧めします。
		Middle	コンソール(家庭用ゲーム機)を表示するときにお勧めします。
		Low	動画の再生や一般的な使用の際にお勧めします。
		オフ	Deep Black Pro機能を無効にさせます。
		 ヒント - この機能を有効にすると、暗い背景上に若干のハロー効果が表示されることがあります。これは正常であり、誤動作ではありません。 - この機能を有効にすると、画面のちらつきが断続的に発生することがあります。 - この機能は、HDR コンテンツの場合のみ使用できます。 - ゲーム以外で使用する場合は、オフにすることをお勧めします。	
	ピクチャーモード 初期化	映像設定を初期化しますか？	
		No	リセットを行わず、メニュー選択に戻ります。
		Yes	初期設定（工場出荷時の設定）に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期化されますので、ご注意ください。

設定 > サウンド		説明	
サウンド	DTS Headphone:X	ヘッドホンまたはイヤホンで3Dサウンドを有効にします。	
		ゲーム	ゲームに最適化されたモードです。
		エンターテインメント	エンターテインメントに最適化されたモードです。
		スポーツ	スポーツに最適化されたモードです。
		オフ	DTS Headphone:X機能を無効にします。
	音量	音量を調節します。	
		 ヒント ・音量メニューが表示されているときにジョイスティックを▼の方向へ動かすと、ミュート / ミュートを解除を設定できます。	

設定 > 入力		説明	
入力	入力選択	各入力端子を選択します。選択した端子の映像を画面に出力します。	
	アスペクト比	画面の縦横比を調整します。	
		全画面	映像信号の入力に関係なく、画面全体に表示します。
		4:3	ビデオを4:3で表示します。
	自動入力切替	[オン]に設定すると、新たにケーブルを接続したときに、自動的に入力が切り替わります。	
		オン	[自動入力切替]を有効にする。
		オフ	[自動入力切替]を無効にする。

設定 > 全般		説明	
全般	言語	OSD メニューなど、画面に表示される言語を選択します。	
	ユーザー定義キー1	お好みのメニューに簡単にアクセスできるように、メインメニューをカスタマイズすることができます。	
	ユーザー定義キー2	メインメニューの左右には、ユーザー定義キー1とユーザー定義キー2が表示されます。	
	SMART ENERGY SAVING	High	SMART ENERGY SAVING (スマート エナジーセービング) を有効にして、より効果的に消費電力を抑えます。
		Low	SMART ENERGY SAVING (スマート エナジーセービング) を有効にして、消費電力を抑えます。
		オフ	SMART ENERGY SAVING (スマート エナジーセービング) を無効にします。
	ディープスリープモード	[ディープスリープモード]を[オン]に設定すると、待機状態時の消費電力を最小限に抑えます。	
		オン	[ディープスリープモード]を有効にします。
		オフ	[ディープスリープモード]を無効にします。
	電源LED	OSD ジョイスティック上の電源LEDのオン / オフを切り替えます。	
		オン	電源LEDが自動でオンになります。
		オフ	電源LEDをオフにします。ただし、モニターの電源を入れたときに起動を知らせるため一時点灯します。
	自動スタンバイ	一定時間、表示されている映像に変化がない場合に自動的にモニターの画面をオフにする機能です。自動で画面がオフになるまでの時間を設定します。([8時間後]、[6時間後]、[4時間後]、[オフ])	

全般	入力互換性バージョン	入力互換性バージョン、接続する外部機器のバージョンに合わせて設定してください。	
		HDMI	2.1(PC)/2.1(AV)/1.4 HDRを使用する場合は、入力互換性バージョンを2.1(PC)または2.1(AV)に設定してください。
		DisplayPort	1.4(DSC)/1.4/1.2 HDRを使用する場合は、入力互換性バージョンを1.4(DSC)または1.4に設定してください。
		 ヒント ・ 接続機器がHDMIの2.1に対応しているが、画面や音声が正常に動作しない場合は、2.1 (AV) に設定してください。	
	Beep音	モニターに電源を入れた時、Beep音から生成された音を設定する機能です。	
		オン	モニターの Beep音 を有効にします。
		オフ	モニターの Beep音 を無効にします。
	OSDロック	OSD の設定可能な項目を制限します。	
		オン	[OSDロック]を有効にします。
		オフ	[OSDロック]を無効にします。
		 ヒント ・ 設定可能な項目を制限します。[オン]にしても設定が可能な項目は以下のとおりです。 - [画像調整] > [明るさ] / [コントラスト] - [サウンド] > [音量] - [入力] - [全般] > [OSDロック] / [表示情報] / [オープンソースソフトウェアライセンス] 上記以外の項目を設定するときは、[OSDロック] をオフにしてください。	

全般	画面自己診断	モニター画像に問題がないかチェックします。入力ケーブルを抜かないでください。	
	表示情報	電源投入時間合計、解像度が表示されます。	
	オープンソースソフトウェアライセンス	オープンソースソフトウェアの通知情報を確認できます。	
	初期化	設定をリセットしますか？	
		No	リセットをキャンセルします。
		Yes	初期設定（工場出荷時の設定）に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期化されますので、ご注意ください。

困ったとき

画面に何も表示されない	
画面に何も映らない	- 電源コードがコンセントに正しく接続されているかを確認してください。 - モニターの電源ボタンを押してモニターの電源が入っているかを確認してください。
電源をオンにして、電源ランプが点灯しているのに画面が映らない	接続機器が黒画面を出力している可能性があります。接続機器が正常に動作しているかを確認してください。
電源ランプが点滅している	- PC がスリープモードになっている可能性があります。マウスを動かすか、キーボードのいずれかのキーを押して、PC の省電力モードを解除してください。 - PC の電源が入っているか確認してください。
画面に [推奨解像度での表示をおすすめします。映像がちらついたり、画面が正常に表示されない場合は、取扱説明書の「困ったとき」を確認してください。] と表示される	- PC (グラフィック カード) から伝送された信号が、モニターの水平周波数または垂直周波数の範囲から外れている場合に表示されます。 - 本取扱説明書の「製品仕様」を参照して、OS 上で適切な周波数または、解像度に設定してください。 - 変更方法は次ページのヒントを参照してください。
画面に [信号が見つかりません。] と表示される	- 信号ケーブルが接続されていないときに表示されます。PC またはモニターに正しくケーブルが接続されているかを確認してください。 - 入力为正しく選択されていない可能性があります。OSDジョイスティックを押してから左に倒して[入力]を選択して映像が出力されている端子を確認してください。
OS上でモニターがうまく認識しない	- 必ず弊社のウェブサイト(www.lg.com)からディスプレイのドライバーをインストールしてください。 - グラフィックカードがプラグアンドプレイに対応しているか確認してください。

一部のOSDメニューの設定ができない	
OSD で設定できない項目がある	OSDがロックされています。[設定] > [全般]の順に選択し、[OSDロック]を[オフ]に設定します。

画面に残像が生じる

モニターの電源を切っても残像が見える

- ・ 静止画映像を長時間表示すると、画面が損傷して残像が生じることがあります。
- ・ モニターを長時間使用する場合は、OS でスクリーンセーバーを設定して、長時間同じ画像、映像を映さないようにしてください。

画面表示が安定せずに揺れる。ゴーストが表示される

画面がちらつく

- ・ 選択した解像度がHDMI 1080i 60/50 Hz (インターレース) の場合、画面がちらつくことがあります。解像度を1080pまたは推奨解像度に変更してください。

DisplayPortで3840×2160の解像度を利用できない。(180 Hz)

正しい入力端子に接続されていますか？

- ・ HDMIは3840 x 2160で180 Hzの表示に対応できません。DisplayPortで接続してください。また、以下の条件を確認してください。
[設定] > [全般] > [入力互換性バージョン] の順に選択して、[1.4 (DSC)] に設定します。
- ・ グラフィックカードが **DSC** (Display Stream Compression) に対応しているか確認してください。
- ・ OSにインストールされているグラフィックカードのデバイスドライバーを最新版に更新してください。

HDMIで3840×2160の解像度を利用できない。(180 Hz)

正しいグラフィックカードに接続されていますか？

- ・ グラフィックカードがHDMIで3840 x 2160 / 180 Hzをサポートしているか確認してください。(NVIDIA RTX 3000シリーズ、AMD RX 6000シリーズ以上)
- ・ OSにインストールされているグラフィックカードのデバイスドライバーを最新版に更新してください。



ヒント

- **垂直周波数**: 映像を表示するために、モニターは毎秒数十回画面を表示しなおします。1秒間で画面が切り替わる回数を「垂直周波数」または「リフレッシュレート」と呼びます。単位はHzです。
- **水平周波数**: 横線1本を表示するためにかかる時間を「水平サイクル」と呼びます。1秒間で表示される横線の数は、1を水平サイクルで除算することにより計算できます。これを水平周波数と呼びます。単位はkHzです。
- OS(オペレーティングシステム)上で、グラフィックカードの解像度または周波数がモニターの許容範囲内かを確認し、推奨される(最適な)解像度に設定してください。
解像度: 以下の順に選択し、メニュー内の**解像度**を変更します。
 - Windows 7:[コントロールパネル]>[画像の解像度の設定]
 - Windows 10:[設定]>[システム]>[ディスプレイ]>[ディスプレイの詳細設定]**垂直周波数**: 以下の順に選択し、メニュー内の**画面のリフレッシュレート**を変更します。
 - Windows 7:[コントロールパネル]>[画像の解像度の設定]>[詳細設定]>[モニター]タブ
 - Windows 10:[設定]>[システム]>[ディスプレイ]>[ディスプレイの詳細設定]>[アダプターのプロパティを表示]>[モニター]タブ

*選択手順はOSのバージョンによって異なる場合があります。
- グラフィックカードを推奨される(最適な)解像度に設定しないと、文字がぼやけたり、画面がかすれたり、表示画像が表示領域からはみ出したり、表示位置がずれたりすることがあります。
- 調整の手順は、お使いのPCまたはOSによって異なる場合があります。また、グラフィックカードによっては、解像度がサポートされていない場合があります。この場合は、PCまたはグラフィックカードの製造元にお問い合わせください。
- PCやグラフィックカードによっては、解像度 3840 x 2160 をサポートしていない場合があります。この解像度を表示できない場合は、グラフィックカードのデバイスドライバを最新に更新するか、グラフィックカードの取扱説明書やホームページで解像度の対応状況を確認するか、PCまたはグラフィックカードメーカーにお問い合わせください。

画面の色が正常ではない

色が正常に表示されない

- ・ 信号ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。
- ・ グラフィックカードがスロットに正しく挿入されていることを確認してください。
※ グラフィックカードの確認をする際は必ずPCの電源をコンセントから抜いて確認してください。
- ・ **[コントロールパネル] > [画面] > [設定]** (OSによって異なります) から、OS上の表示色を24bit または32bit のTrue Color に設定してください。

画面上に小さな点が表示される

- ・ 液晶パネルは高精度な技術で作られており、画面の一部にドット抜け (ごく小さな黒い点や赤、青、緑などの点) が見えることがあります。これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。

音声が出力されない

ヘッドホン端子に接続した音声機器から音声が出力されない(音が聞こえない)

- ・ OSD ジョイスティックで音量を確認し、調整してください。
- ・ PC のオーディオの出力先を、使用中のモニターに設定します。Microsoft Windows で **[コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [サウンド]** の順に選択して、モニターを既定のデバイスとして設定します。
- ・ ヘッドホン端子に外部音声出力機器が正常に接続されていることを確認してください。
- ・ WindowsやPCの再生ソフトウェアの音量レベルを確認してください。
- ・ 変換コネクタでPCのDVI端子と接続している場合は、DVI端子が音声信号の伝送に対応していないため、音声は出力できません。

製品仕様

LCD画面	カラー階調	HDMI	8ビット / 10ビットカラーがサポートされています。
		DisplayPort(DP)	8ビット / 10ビットカラーがサポートされています。
解像度	最大解像度	3840 x 2160 @ 180 Hz (HDMI) 3840 x 2160 @ 180 Hz (DisplayPort)	
	推奨解像度	3840 x 2160 @ 180 Hz (HDMI) 3840 x 2160 @ 180 Hz (DisplayPort)	
電源	電源定格	19 V --- 3.3 A	
AC/DCアダプター	出力:19 V --- 3.42 A		
環境条件	動作条件	温度	0〜40 °C
		湿度	80%未満
	保管条件	温度	-20〜60 °C
		湿度	85 %未満
寸法	モニターサイズ(幅 x 高さ x 奥行)		
	スタンド装着時	613.5 x 534.5 x 220 (mm)	
	スタンドなし	613.5 x 371.6 x 51.3 (mm)	
重量(パッケージを除く)	スタンド装着時	7.4 kg	
	スタンドなし	4.9 kg	

仕様は製品の品質向上のため、予告なく変更されることがあります。

～記号は交流を意味します。--- 記号は直流を意味します。

工場出荷時対応モード

HDMI

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	極性 (H/V)	備考
640 x 480	31.469	59.94	-/-	
800 x 600	37.879	60.317	+/+	
1024 x 768	48.363	60.004	-/-	
1280 x 720	45	60	+/+	
1280 x 1024	79.976	75.025	+/+	
1920 x 1080	67.5	60	+/+	
1920 x 1080	66.587	59.934	+/-	
3840 x 2160	65.688	29.981	+/-	推奨タイミング - 入力互換性バージョン: 1.4
1920 x 1080	137.327	120.041	+/-	
1920 x 1080	166.668	144.052	+/-	
1920 x 1080	212.115	180.064	+/-	
2560 x 1440	182.996	119.998	+/-	
3840 x 2160	133.313	59.997	+/-	推奨タイミング - 入力互換性バージョン: 2.1(AV)
2560 x 1440	222.268	144.05	+/-	
1920 x 1080	436.111	360.125	+/-	推奨タイミング - 入力互換性バージョン: 1.4(Dual mode)

解像度	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	極性(H/V)	備考
3840 x 2160	333.333	144.05	+/-	
3840 x 2160	424.048	180.063	+/-	推奨タイミング - 入力互換性/バージョン: 2.1(PC)

DisplayPort

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	極性 (H/V)	備考
640 x 480	31.469	59.94	-/-	
800 x 600	37.879	60.317	+/+	
1024 x 768	48.363	60.004	-/-	
1280 x 720	45	60	+/+	
1280 x 1024	79.976	75.025	+/+	
1920 x 1080	67.5	60	+/+	
1920 x 1080	137.327	120.041	+/-	
1920 x 1080	166.587	143.981	+/-	
1920 x 1080	212.115	180.064	+/-	
3840 x 2160	133.313	59.997	+/-	推奨タイミング - 入力互換性/バージョン: 1.2
2560 x 1440	222.151	143.973	+/-	
3840 x 2160	214.68	95.033	+/-	
1920 x 1080	436.115	360.128	+/-	推奨タイミング - 入力互換性/バージョン: 1.4(Dual mode)
3840 x 2160	268.438	119.999	+/-	推奨タイミング - 入力互換性/バージョン: 1.4
3840 x 2160	333.333	144.05	+/-	
3840 x 2160	424.048	180.063	+/-	推奨タイミング - 入力互換性/バージョン: 1.4(DSC)

* DSC: Display Stream Compression.

* 180 Hz 以上を表示する場合は、DSC (Display Stream Compression) に対応するグラフィックカードが必要です。

HDMI タイミング (映像)

工場出荷時対応モード (プリセットモード)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	備考
480P	31.5	60	
720P	45	60	
1080P	67.5	60	
1080P	135	120	
2160P	135	60	
2160P	255	120	

電源LED

モード	LEDの色
オンモード	赤色 (数秒間)
スリープモード(待機モード)	オフ
オフモード	オフ



製品のモデルと製造番号は製品の背面と側面にあります。
サービスを受ける場合に必要になりますので記入してください。

モデル _____

製造番号 _____